

山内昌之 東京大学名誉教授による講演会
(2014年7月3日：旧総領事館事務所)

7月3日、トルコ三菱商事との共催で、中東研究の第一人者でもある山内昌之東京大学名誉教授（三菱商事顧問）による講演会「トルコと中東の最新情勢」が開催されました。



三好博 トルコ三菱商事総代表の講師紹介の後、福田総領事が挨拶を述べ（[挨拶.PDF](#)）、山内名誉教授による講演会と質疑応答が行われました。

山内名誉教授は、冒頭、最新著の「中東国際関係史：トルコ革命とソビエト・ロシア 1918－1923」に取り上げた舞台であるトルコ東部国境地域を実地踏査された結果について述べられました。次いで、第一次大戦後のトルコ東部とコーカサス地域国境におけるオスマン帝国末期の戦略的、内政的、軍事外交的な立ち位置を総攬し、その背景と原著の主人公であるカラベキル将軍等の艱難辛苦の努力の上に成り立ったトルコ共和国の現状と見通し、更には隣国であるイラン、イラク、シリアの最新動向に関して、暑さを忘れるほど実に含蓄に富む有意義なお話がありました。



講演後のカクテルでは山内夫妻を囲んで親睦を深めつつ活発な意見が交わされました。

参考：山内昌之（やまうち まさゆき）
東京大学名誉教授、三菱商事顧問、国家安全保障局顧問会議座長、明治大学特任教授、フジテレビジョン特任顧問。2003年から2005年までは、三回の日本政府中東文化ミッション団長として中東各国を訪問。